

●ポイント

- 予測が難しいVUCAの時代、自ら課題を見つけ解決する探究に求められる「発想力」「テクノロジー活用力」「実装力」の3つの力を身につけることで、これからのAI社会を牽引する次世代の担い手たちを育成します。
- 「情報Ⅱ」の「(5) 情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究」を実現するプランです。
- 総合的な探究の時間での活用にも適しています。

AI Challenge

探究学習で
AI活用人材を育成する

教員向け

生徒向け

生成AIスキルアップ講座

オンライン学習

集合研修

情報Ⅱの
設置

総合的な
探究の時間
の充実

AI活用実践

AI活用実践Lite

生成AI活用

* 団体単位での申込みの場合、教員向け生成AIスキルアップ講座 オンライン学習30ID分を無償発行

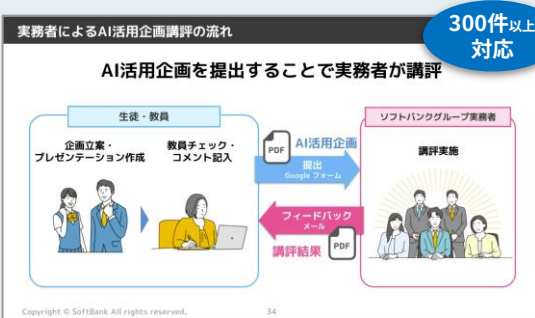
● 概要—AIチャレンジ（生徒対応）

- 探究学習のプロセスを通じてAIの活用方法を身につけることができます
- 学習に必要な各指導ツールが一式揃っています
- AIの基本的な知識習得からAIを利用した課題解決まで体験できます
- 生成AIを理解しAI倫理を身につけ、プロンプトの学習ができます



探究学習でAI活用人材を育成する

実務者によるAI活用企画の講評



考案したAI活用企画のデータ提出をするとソフトバンクAI実務者が全件講評して返送

AIツールを用いた多様な実習パート

識別系AI	会話系AI	予測系AI (オプション)
手書き数字の画像識別 	あいさつで受け答える おはようございます → おはよう	性別・年代をもとに老眼予測
模型を使った駐車場の空車判定 	歴史の西暦を教えてください 知りたい時代は? → 鎌倉時代 1185~1333年までです	購買データを基にメガネフレームをレコメンド

実際に課題解決に使用できる多様なAIツールを操作し、AIの仕組みを深く理解
AIツールは全てパソコンのブラウザ上で実行するため、高スペックPCやインストール作業は不要

付属物

学習に必要な各指導ツールが揃っています



授業用スライド (オンライン)

解説動画 (オンライン)



教材導入ガイド
学習指導案
(指導者IDのみダウンロード)



セットアップガイド
(オンライン・ダウンロード)



ワークシート (ダウンロード)



サンプルデータセット
サンプルプログラム
(ダウンロード)

生成AIの仕組み・リスクを理解

生成AIの成り立ちや仕組み、ハルシネーションによるリスクを理解する

生成AIの使い方を習得

プロンプトエンジニアリングによる生成AI実習と、AI倫理について考える

プロンプト実践集

学んだ生成AIを探究学習での様々な場面で利活用するためのプロンプト集

●概要—生成AIスキルアップ講座（教員対応）

- 文部科学省の「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」をベースに、急速に進展するAI技術と教育現場での利活用について、高等学校の教員の皆様に実践的な知識とスキルを提供します。
- AIの基礎から実践的な利活用方法まで、4つのステップで体系的に学習できる構成となっています。
- 校務での業務効率化から、授業での効果的な利活用まで、教育現場に即した具体的な事例とともに学びます。

目的

生成AIの基礎知識から実践的な利活用法までを学び、生成AIを教育現場で効果的に用いて生徒の学びに生かすことを目指す

学べること

1. 文部科学省ガイドラインの理解

- ガイドラインの解説と付加情報で深く理解

2. 生成AI時代に対応する能力育成

- AIリテラシーの習得と生徒の情報活用能力の育成方法

3. 具体的な生成AI利活用

- 校務・学習活動での利活用による業務効率化と質向上

講座内容

第1章 生成AIの基礎知識

- AIの歴史、従来のAIと生成AI、生成AIの仕組み
- 代表的な生成AIツール (ChatGPT、Copilotなど)

第2章 生成AI利活用の基本的な考え方

- ハルシネーションと生成AIのリスク (著作権・バイアスなど)
- 人間中心の利活用、情報活用能力の育成、ファクトチェック

第3章 教育現場における生成AI利活用と留意点

- プロンプトの作成方法
- 校務・学習活動での利活用と留意点

第4章 生成AI利活用事例

- 校務での利活用事例 (文書作成、授業準備、学習評価など)
- 学習活動での利活用事例 (各教科での活用例、探究学習など)

受講方法

オンライン学習

自身のパソコンで好きな時間にEラーニングで学習

集合研修

専門講師派遣による学校での集合研修 (約2時間)

●モジュール

モジュールNo.	項目	概要	小計&合計 (税込)
00	AIチャレンジ -AI活用実践コース-	識別系AI・会話系AI・予測系AI・生成AIに関する全24コマ分の教材コンテンツ (AI実務者からのAI活用企画講評含む) ※ 全12コマ・全5コマ・全2コマの別コースも有り (補足資料参照)	297,000円
00	教員向け生成AIスキルアップ講座 (オンライン学習)	Eラーニングシステムによる教員向け学習プログラム ※ 教員数30名まで無償提供	0円
00	教員向け生成AIスキルアップ講座 (集合研修)	専門講師による約2時間の教員向け集合研修 ※ 実施場所が遠方の場合別途宿泊交通費が追加 ※ 本項目はオプション	60,500円
			合計 357,500円

できること

- 実習形式でAI活用の基礎を学ぶことができる
- 発想力・AI活用力を育むことができる
- 社会との接点を生かして学習できる
- AI活用企画を考案し、AI実務者から講評を受けることができる
- 識別系AI・会話系AI・予測系AI・生成AIについてAIツールを用いて演習を行い、学ぶことができる
- Prediction One クラウド版ライセンスを生徒人数分1年間使用できる
- 情報システムにAIを組み込み、実際に課題解決する方法を学ぶことができる

留意点

- AIツールを用いた実習にはパソコン (Windows、Mac、Chromebook) のGoogle Chromeブラウザ、またはMicrosoft Edgeが必要です。
- 使用するAIツールは次の通りです。
 - 生成AI : ChatGPT (OpenAI) / mage.space (Ollano Inc.)
 - 識別系AI : Teachable Machine (Google)
 - 会話系AI : Dialogflow (Google) / SnatchBot
 - 予測系AI : Prediction One (ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社)
- ChatGPTの使用には、保護者同意が必要です。
- Teachable Machineの使用には、ウェブカメラが必要です。
- Dialogflow使用のため、Google Workspace for Education導入環境では、管理者によるGoogle Cloud Platformの年齢制限変更が必要です。

学校の指導計画に応じてコースを選択していただけます。詳細はお問合せください。

		AI活用実践		AI活用実践Lite	生成AI活用	教員向け 生成AIスキルアップ講座
コース特色		実践的な探究活動を通じAI活用で社会課題解決を行う		短期集中型で基礎を学び実習を行う	生成AIの活用を学び実習を行う	
学習内容	教材構成	Unit 1 AIを知る Unit 2 AI活用企画をつくる Unit 3 AI構築を体験する★ Unit 4 AIを役立てる★		Try 1 AIを知る Try 2 AIを体験する★ Try 3 AI活用企画をつくる	第1部 生成AIを知る 第2部 生成AIを体験する★	第1章 生成AIの基礎知識 第2章 生成AI利活用の 基本的な考え方 第3章 教育現場における 生成AI利活用と留意点 第4章 生成AI利活用事例
	生成AI活用入門★			生成AI活用入門★		
	コマ数目安	10～16コマ以上	10～22コマ以上	3コマ以上	—	
生成AIコマ数	2コマ		2コマ	2コマ		
使用するAI	識別系AI	○	○	○	—	
	会話系AI	○	○	—	—	
	予測系AI	—	◎	—	—	
	生成AI	○	○	○	○	
対象	中学生	○	○	○	○	
	高校生	◎	◎	○	○	
	大学生	◎	—	○	○	
年間費用 * (税込)	利用者単位	1,650円	—	1,100円	880円	
	団体単位	165,000円	297,000円	110,000円	88,000円	

オンライン学習

33,000円 (年間)

※ 30ID分を発行、
それ以降1IDあたり1,100円追加

集合研修

60,500円 (約2時間)

※ 実施場所が遠方の場合は
別途宿泊交通費が追加

★：AIツールを用いた実習を含む時間 *利用者単位の場合は最少発行数20ID～となります。団体単位の場合、教員向け生成AIスキルアップ講座 オンライン学習 (30ID分) を無償発行します。

※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

コマ数の目安：学校内で自由に実施コマ数の計画が可能です。

パート	コマ	学習内容
Unit 1	1	AIを知る
	2	AIを体験する
生成AI活用	3	生成AIを知る
	4	生成AIを体験する
Uni 2	5	AI活用企画を考える
	6	AI活用企画を発表する
Unit 3	7	識別系AIの仕組みを知る
	8	識別系AIを構築する
	9	会話系AIの仕組みを知る
	10	会話系AIを構築する
	11	予測系AIの仕組みを知る
	12	予測系AIを構築する

パート	コマ	学習内容
Unit 4	13	識別系AIの課題設定をする
	14	識別系AIの要件定義をする
	15	識別系AIのシステムを開発する
	16	識別系AIのシステムを評価する
	17	会話系AIの課題設定をする
	18	会話系AIの要件定義をする
	19	会話系AIのシステムを開発する
	20	会話系AIのシステムを評価する
	21	予測系AIの課題設定をする
	22	予測系AIの要件定義をする
	23	予測系AIのシステムを開発する
	24	予測系AIのシステムを評価する



探究プロジェクト成果発表コンテスト（全情コンなど）
に向けた取り組み

ご興味がありましたら、以下からお問い合わせください。

- 企業名 : ソフトバンク株式会社
- メール : grp-aichallenge@g.softbank.co.jp
- ホームページ : <https://www.softbank.jp/corp/sustainability/special/ai-challenge/>
- お問い合わせフォーム : <https://forms.gle/hb4KRAPdeCeXhJPV9>